

社団法人 未踏科学技術協会  
平成13年度 事業報告書

A. 庶務事項

1. 事務所移転(新住所 東京都港区虎ノ門1丁目2番10号)により、定款の一部が改正されました。  
(平成13年9月12日 一部改正許可 13 諸文科振第714号)
2. 理事会5回、総会2回を開催いたしました。
3. 平成13年度における理事及び監事の異動は次のとおりでした。
  - ・理事長 栗野 常久 (任期满了(平成14年3月31日) 退任)
  - ・副理事長 金子 秀夫 (任期满了(平成14年3月31日) 退任)
  - ・理事 対馬 立郎 (任期满了(平成14年3月31日) 退任)
  - ・監事 山崎 隆啓 (任期满了(平成14年3月31日) 退任)
  - ・理事 木村 茂行 (7月1日 就任)
4. 平成13年度における会員の異動状況は、[別表2]のとおりでした。

B. 事業活動

[ ] 外部からの受託事業

(1) 国からの受託事業の実施

文部科学省から次の調査研究を受託し、3月31日に完了しました。

[科学技術振興調整費総合研究] 機能調和システム基盤技術のための調査研究

(2) 公的機関からの受託事業の実施

物質・材料研究機構、日本原子力研究所、公害健康被害補償予防協会から調査研究を受託し、それを実施、完了いたしました。調査題目等は[別表1]に記載。

・物質・材料研究機構 4件

(科学技術振興調整費総合研究の再委託 3件 調査研究 1件)

・日本原子力研究所 2件

・公害健康被害補償予防協会 1件

(3) 公的機関からの請負事業の実施

物質・材料研究機構から調査研究、会議運営等25件の事業を請け負い、完了いたしました。調査題目等は[別表1]に記載。

(4) その他民間からの受託及び請負事業の実施

・放電加工技能検定実施に協力いたしました。

実技試験に関し、試験の実施への協力および検定用表面あらさ比較標準片作成。

検定用試験問題作成のための技能検定委員派遣(中央職業能力開発協会)。

・環境情報科学センターの委託により、環境に係わる法規説明会の受付業務を実施しました。

・新しい機能材料、その他新技術に係る調査研究の実施に、事務局として協力しました。調査研究項目は[別表1]に記載。

[ ] 各種研究会・委員会等の運営

- (1) ナノ粒子研究会\*では、講演会および見学会の開催、会報の発行、幹事会等の各種委員会の運営を行いました。
- (2) 磁性材料研究会関連では、新磁性材料セミナーの開催を行いました。また、永久磁石磁気測定検定法委員会(磁石検定委員会)を設置し、検討を重ねてきた永久磁石磁気測定検定業務を開始しました。
- (3) 事業委員会を組織し、新しい事業の可能性を検討しました。その結果14年度より次の事業をスタートする準備に取りかかりました。
  - ナノサイエンス・サマー道場の開催準備
  - 「生命をはかる」研究会\*発足のための準備会
- (4) 編集委員会では、協会誌「未踏科学技術」の内容充実、また、特定研究会との連携を図ることを目的に委員会を開催いたしました。
- (5) 特定研究会と協会が、それぞれの活動について理解を深め、お互いに協力できるように、研究会会長と協会理事長による連絡会議が13年度より設置されました(半年に1回開催)。  
注)\*ナノ粒子研究会と「生命をはかる」研究会は平成14年度より特定研究会になります。

[ ] 特定研究会の運営

各研究会では次のような事業及び会議を開催いたしました。活動の詳細は[別表1]に記載。

- (1) 超伝導科学技術研究会
  - シンポジウム及びワークショップの開催、会報の発行、幹事会等の各種委員会の運営
- (2) 傾斜機能材料研究会
  - シンポジウム及びワークショップの開催、会報の発行、幹事会等の各種委員会の運営
- (3) インテリジェント材料フォーラム
  - シンポジウム及びワークショップの開催、会報の発行、幹事会等の各種委員会の運営
- (4) エコマテリアル研究会
  - 国際会議、シンポジウム、ワークショップの開催、会報の発行、幹事会等の各種委員会の運営

[ ] 出版事業

- (1) 情報活動の一環として、月刊会報「未踏科学技術」を継続発行
  - (2) ナノ粒子研究会 会報
  - (3) 特定研究会の刊行物
    - ・超伝導科学技術研究会、傾斜機能材料研究会、インテリジェント材料フォーラム、エコマテリアル研究会はそれぞれ機関誌を継続発行
    - ・その他国際会議およびシンポジウム、ワークショップ等の講演録や各種報告書等多数
  - (4) その他、平成13年度に完了した調査研究の成果報告書多数
- 以上の刊行物の詳細は[別表1]に記載。